

24号 自動タイプ

大阪ガス

ガスふろ給湯器

屋外設置形 31-554/555/556/557/558型

屋内設置形 31-559型

取扱説明書

型 式 GJ-2416R-B
 GJ-S24D1-B
 GJ-S24C1-B
 GJ-S24B1-B
 GJ-S24F1-B
 (BL部定品)



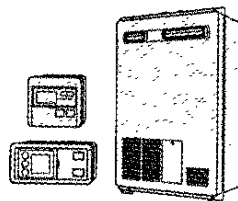
本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3-2-95	電話 大阪 06(586)3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	電話 堺 0722(38)1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町3-9-6	電話 高槻 0726(71)0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	電話 河内 0729(62)1131
兵庫支社	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話 神戸 078(360)3100
京都支社	〒600	京都市下京区中堂寺栗田町1番地	電話 京都 075(311)7381
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	電話 奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	電話 和歌山 0734(31)2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4-8	電話 姫路 0792(85)2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-5-7	電話 豊岡 0796(23)2221
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-3-4	電話 草津 0775(62)5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-1-1	電話 彦根 0749(22)3131
長浜営業センター	〒526	長浜市南呉服町3-4	電話 長浜 0749(62)7171
本社・ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	電話 大阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社

お願い

■31-559型の機器は工事完了後、本体および排気筒に法定のステッカー（表示ラベル）を貼り付けるように定められていますので、確認してください。



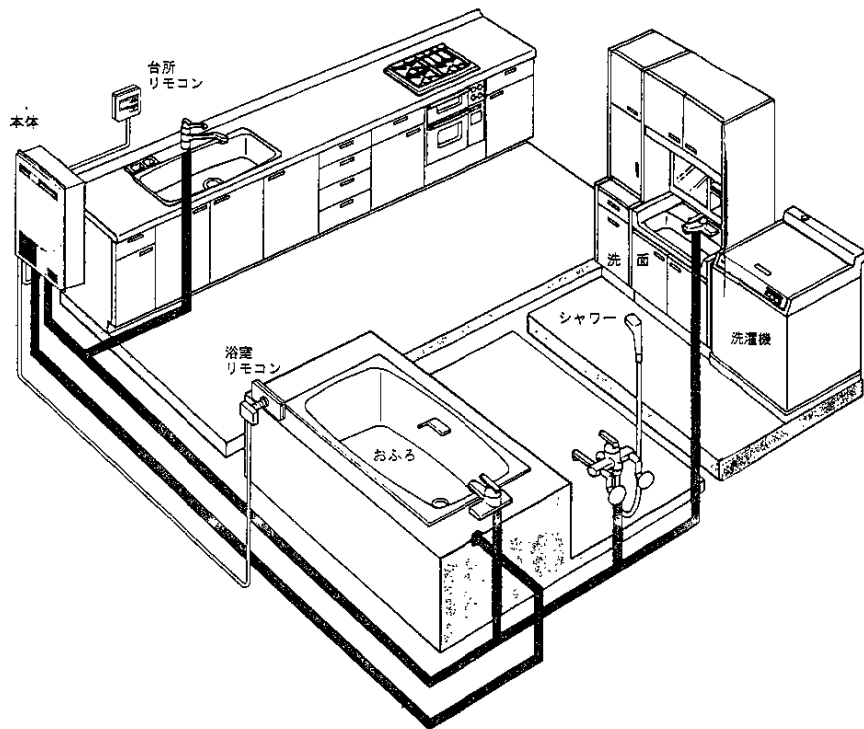
このたびは、大阪ガスのガスふろ給湯器をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。

- ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。また、別冊の「安全上のご注意」もお読みいただき、大切に保存してください。

リモコンですばやく給湯・お湯はり… 入浴が快適に!

- 遠温・適量のお湯はりができれば自動消火するお湯はり運転。
- 湯温が下がってもすぐ戻る保温機能付。
- 給湯・シャワーとふろ追いだきが同時にできる独立運転。
- 台所もおふろも安定した湯温で給湯できる温度調整付。
- 万一の異常をお知らせするOKモニター付。
- 断続的な使用時にも温度変化の少ないQ機能付。

本製品は一般家庭用のため、業務用には使用しないでください。著しく機器の寿命が縮まります。



※イラストは異なる場合があります。

この取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店または
もよりの大阪ガス支社にて再購入してください。

もくじ

必ずご確認ください

- 必ずお守りください……………ページ 4

使いかた

	ページ
● 入浴健康メモ……………	7
● 早見表……………	8
● 初めてお使いになるとき……………	10
● お湯の出しかた……………	12
● お湯はりのしかた……………	14
● おふろの湯かげん調節……………	16
● シャワーの使いかた……………	17
● 日常の点検とお手入れ……………	18

必要なときにお読みください

	ページ
● 故障かな?……………	20
● 凍結予防について……………	23
● 仕様……………	26
● 各部のなまえ……………	27
● アフターサービスについて……………	31

必ず
ご確認ください

すぐ
使いたいとき

もし
必要なとき

必ずお守りください

使用ガス・電源

■必ず銘板のガス・電源を使う！

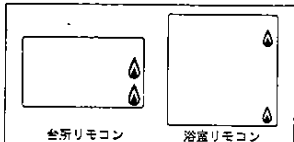
例. 31-554型の場合

ガスふるがま	
型式	GJ-24T6R-8
燃焼方式	強制送風式
都市ガス用	ガス消費量
燃焼圧	13A
電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	1.5kW
電源コード	Q000年××月-00001

製造年月(例〇年×月数)をのしませず。

ガス事故防止のために

■燃焼状態を確認する！



点火時、消火時、使用中、リモコンの燃焼表示点灯・消灯を確認。

■ガス漏れに気づいたとき！

すぐ使用をやめ、給水元栓とガス栓を閉じ、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社に連絡を。



絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの「入」「切」などをしてはいけません。



火災防止のために

■壁や可燃物から十分離す！



■近くに燃えやすいものを置かない！
給排気口をふさがない！



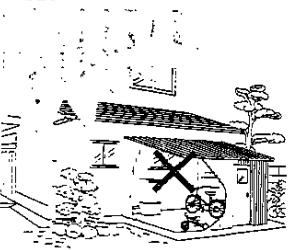
■スプレー缶を機器の前方に置かない、使用しない！



(31-554~8型の場合)

設置場所の確認を

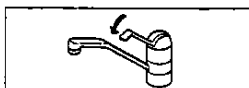
この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって、屋内状態にしないでください。また、波板などによって、囲いをするもおやめください。(31-554~8型の場合)



※混合水栓の、レバーを上げた状態が給湯栓「開」の場合。

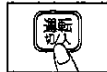
停電・断水のときは

1 給湯栓を閉める



〈断水時のみ〉

2 運転スイッチを「切」にする

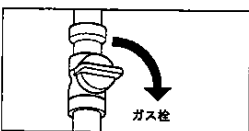


長期間・長時間使用しないときは

1 運転スイッチを「切」にする

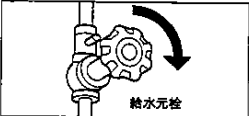


2 ガス栓を閉める



〈長期間のみ〉

3 給水元栓を閉める

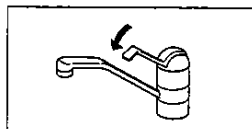


水抜きを行なう(⇒24ページ)

異常のときは

異常燃焼、臭気、異常音を感じたとき
地震、火災のとき

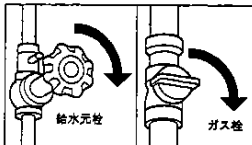
1 給湯栓を閉める



2 運転スイッチを「切」にする



3 給水元栓・ガス栓を閉める



4 お買い上げの販売店
またはもよりの
ガス会社に連絡を！



必ず
ご確認ください

必ずお守りください

安全のために

■ 給湯以外には使用しない！

■ 火傷に注意！

(使用中や消火直後は、絶対に触れない)

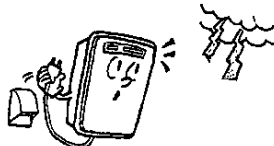


■ 器内に長時間たまっていた水は飲まない、調理に使わない！

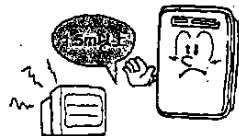


■ 雷のとき使わない！

(電源プラグを抜く)



■ 雑音防止のためテレビやラジオとは離す！



■ ご確認を！

- 入浴時、シャワー使用時は必ず湯温を確認し、使用する。
- 同時に他の給湯栓を使うと湯温がぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。
- 浴そう内の循環口はタオルなどでふさがない。
- 使用後はリモコンの運転スイッチを切る。
- お出掛けや、お休みのときはガス栓を閉める。

■ ソーラーとの接続について！

- この機器は、ソーラー機器(太陽熱温水器)との接続はできません。

■ 用途の確認！

- この機器は家庭用製品です。業務用には使用しないでください。

■ 混合水栓を使用の場合！

- ときどき水だけを流す
絶対水質の水が長い間流れない一瞬、にごった湯(赤水など)が出る場合があります。
- 出口が絞られていないもの(瞬間湯沸器用混合水栓)を選んでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。

■ 夏期などぬるめのお湯が出ないとき！

- 夏期は水温が高いため、湯量を多くしてお使いください。

■ 故障に注意！

- この機器の付属品、補助用具以外は使用しないでください。
- 研磨、酸、アルカリを含んだ洗剤、洗剤はそれらの注意書きをよく読んでください。

■ 感電事故に注意！

- 電源プラグは、ぬれた手で絶対にさわらないでください。

入浴健康メモ

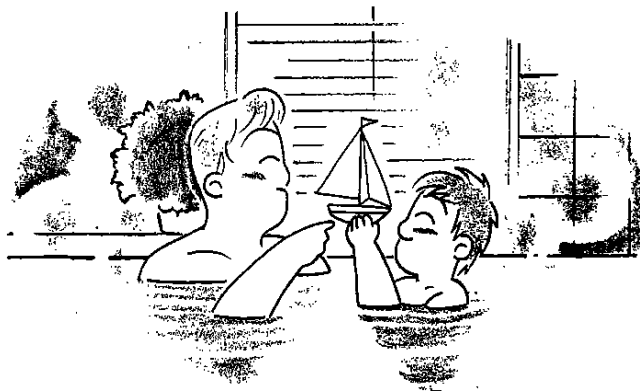
体の疲れをとる入浴のしかた！

● 43～44℃のお湯に入る。

疲労の原因は体内に疲労物質(乳酸)がたまるため。そこで43～44℃の高めの温度だと、血行がグンとよくなるので乳酸が早く体外に出てゆきます。

● つかる時間は10分前後で。

熱い湯に10分間つがると、血液中の乳酸濃度が低くなり、お風呂から出て1時間ほどで疲労以前のレベルに戻ります。10分がきつい人は、短い時間で何回か入るとよいでしょう。



ストレスをとる入浴のしかた！

● 39～41℃のぬるいお湯に入る。

ぬるめのお湯は、緊張の原因、交感神経の活動をしずめ、リラックスを与えてくれる副交感神経の活動を優位にしてくれます。

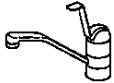
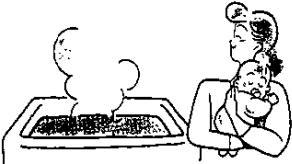





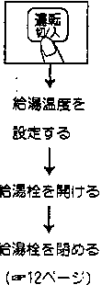
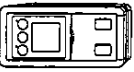
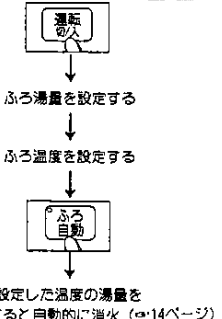
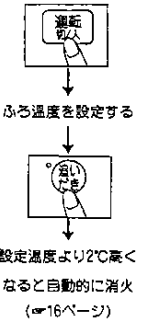
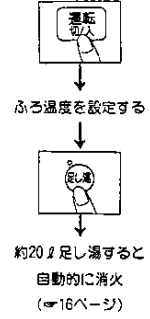
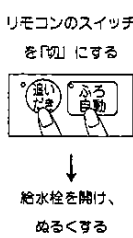
● つかる時間は15～20分ほどで。

ぬるいお湯は、体への効果がゆっくりなため、長い入浴時間が必要です。ゆっくりつがっていると心臓への負担も少なく、血圧が下がってイライラが解消されてゆきます。

必ず
ご確認ください

すぐ
読んでください

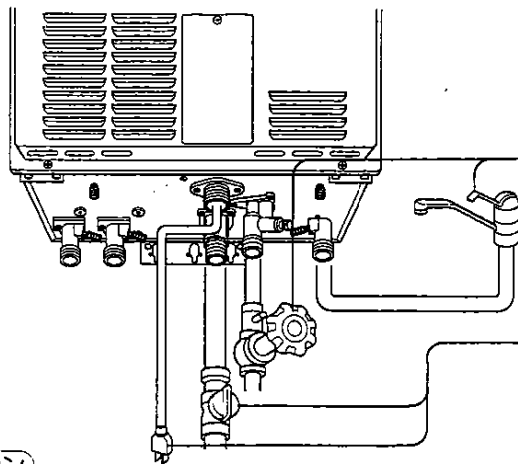
早見表

使う場所		台所・洗面所		浴		室							
使いかた		お湯を出す		お湯はり		お湯を熱くする (追いだき)		お湯を足す (足し湯)		お湯を足す (足し湯)		シャワーを使う	
リモコン													
操作方法	台所リモコン 	 <p>■台所リモコンでお湯はりするとき ふろ自動スイッチを押す。 (前回設定の湯量、温度表示になります。)</p>											
	浴室リモコン 	 <p>設定した温度の湯量をお湯はりすると自動的に消火 (p.14ページ)</p>		 <p>設定温度より2°C高くなる時自動的に消火 (p.16ページ)</p>		 <p>約20分足し湯すると自動的に消火 (p.16ページ)</p>		<p>リモコンのスイッチを「切」にする</p>  <p>給湯/シャワー温度を設定する</p> <p>↓</p> <p>給湯栓を開ける</p> <p>↓</p> <p>給湯栓を閉める (p.17ページ)</p>					

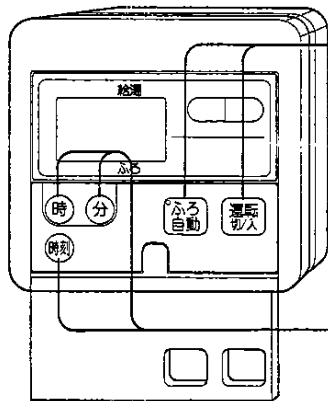
すぐ
使いたいとき

初めてお使いになるとき

本体

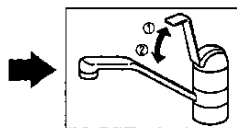
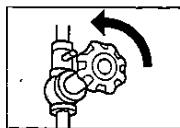


台所リモコン



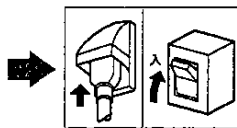
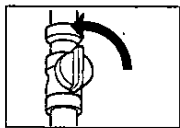
設置工事は — ●必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。
●ご使用前には、設置のしかたが正しいか確認してください。(⇒工事説明書参照)

1 ■ 水の出ることを確かめる



給水元栓
給湯栓を開ける
①開けて水を出し、
②閉める。

2 ■ ガスの開栓と通電を確かめる



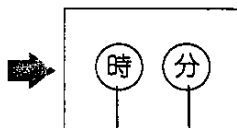
ガス栓を開け
電源プラグを差し込む
または、ブレーカを
「入」にする

3 ■ おふろの湯が出ることを確かめる (ポンプに水を入れるため)



「運転切/入」「ふろ自動」
スイッチを押す
①浴そうに湯が出ることを確かめ、
②再度「ふろ自動」を押し、
湯を止める。

4 ■ 現在時刻を合わせる



押す
「12:00」が点滅。

「時」を合わせる
「分」を合わせる

押す
「*」が点滅。

12:00

2:10

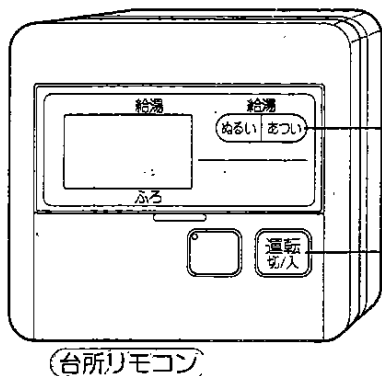
2:10

例、2時10分に合わせる。

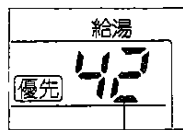
すぐ
使いたいとき

お湯の出しかた（台所・洗面所）

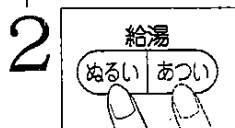
※混合水栓の、レバーを上げた状態が給湯栓「開」の場合。



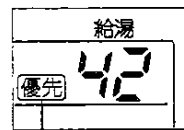
押す
(画面が表示していることを確かめる。)



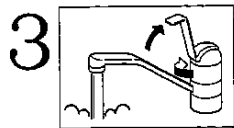
給湯温度表示
● 前回の温度が「75」のとき、安全のため「42」が点灯。




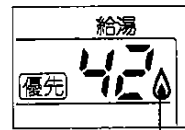
温度を設定する
● お湯の温度は約38～47℃の間と約80℃、約75℃で設定できます。



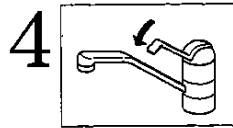
優先表示
(下記参照)




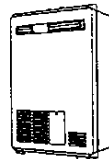
給湯栓を開ける
● 「」が点灯。



給湯燃焼表示
■ 2回目以降は
→ 前回と同じ温度の湯が出ます。



給湯栓を閉める
● 「」が消灯。



すぐ使いたいとき

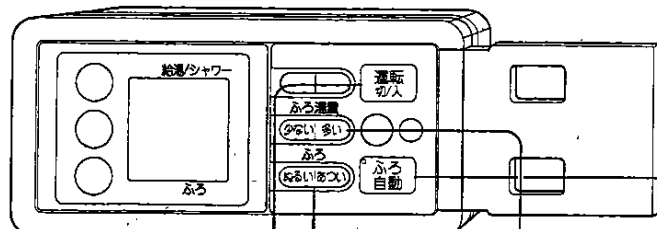
ご注意

- 設定温度が「75」のとき⇒安全のためブザーが鳴ります。
- お湯はり中給湯すると⇒お風呂と同じ温度の湯がでます。
- 給湯栓を絞りすぎると⇒熱いお湯が出たり、消火することがあります。

優先について
優先表示(ランプ)の出ている方のリモコンのみ、給湯温度を設定できます。

- 優先表示(ランプ)が消えているときは⇒浴室リモコンの浴室優先スイッチを押す。
- 浴室優先スイッチは⇒押すごとに「優先」が台所リモコンと浴室リモコンへ交互に移動します。

お湯はりのしかた

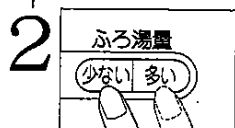


浴室リモコン

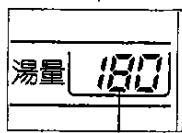
準備：①おふろの排水栓を閉じ、
②浴そうのふたをしてお
いてください。



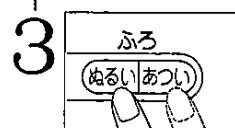
押す
(画面が表示していること
を確かめる。)



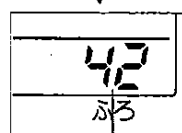
ふろ湯量を
設定する
●約40ℓ～約300ℓ(約20ℓ
ごと)・400ℓ・500ℓで設定
できます。



ふろ湯量表示



ふろ温度を
設定する
●約35℃～50℃の間で設定
できます。



温度表示



押す
●ランプ点灯。
●お湯はりが終わると自動
的に消火し、ブザーでお
知らせます。

■ お湯はりが終わると

→その後、4時間保温を続けます。
(「保温」が点灯)

■途中で消火するとき、止めるとき

→再度押す。(ランプと燃焼表示が消灯)

■ 浴そうの残り湯が循環口より...

→下にある場合は、新たに設定量のお湯はりをします。
→上にある場合は、約60ℓお湯はりをします。

■ 台所リモコンでもお湯はりできます

→台所リモコンの「ふろ自動」を押す。(前回設定の湯量、温度表示になります。)

ご注意

- 湯かげん調節は⇒16ページを参照してください。
- お湯はり中は⇒リモコンの優先表示は消えています。
- ふろ自動スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にする
⇒新たに設定量の湯がお湯はりされます。湯量にご注意ください。

ご注意

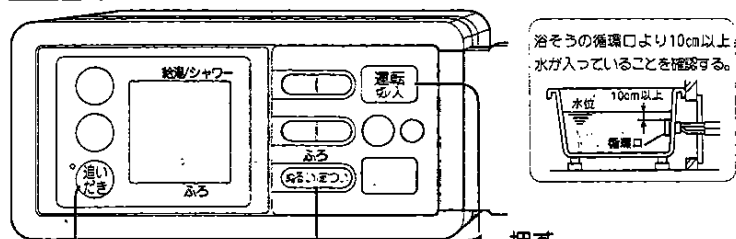
- 給湯とお湯はり同時使用の場合
⇒お湯はりは待機します。
⇒給湯温度はふろ温度と同じになります。



すぐ
使いたいとき

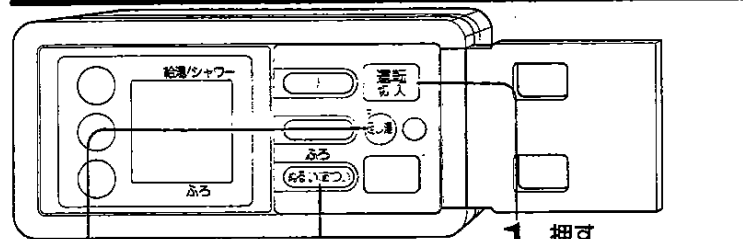
お風呂の湯かげん調節

お風呂のお湯を熱くしたいとき (追いだき)



- 1 押す
(画面が表示していることを確かめる。)
- 2 <温度を設定したい場合>
温度を設定する
- 3 押す (ランプ点灯)
→設定温度より約2℃高くなると自動的に消火します。
■途中で消火したいとき →もう一度押す。

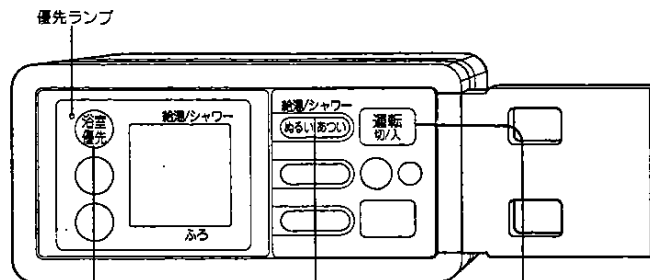
お風呂にお湯を足したいとき (足し湯)



- 1 押す
(画面が表示していることを確かめる。)
- 2 <温度を設定したい場合>
温度を設定する
- 3 押す (ランプ点灯)
→約20ℓ 足し湯すると自動的に消火します。
■途中で消火したいとき→もう一度押す。

シャワーの使いかた

シャワー、カランのお湯の出しかた



- 1 押す
(画面が表示していることを確かめる。)
- 2 押す
(優先ランプ点灯)
- 3 温度を設定する

優先について

優先ランプ(表示)のついている方のリモコンのみ、給湯/シャワー温度を設定できます。

- 優先ランプ(表示)が消えているときは
→浴室リモコンの浴室優先スイッチを押す。
- 浴室優先スイッチは
→押すごとに「優先」が台所リモコンと浴室リモコンへ交互に移動します。

4 給湯栓を開ける



すぐ
使いたいとき

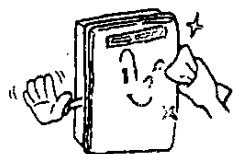
日常の点検とお手入れ

「点検・お手入れ」は、必ず給水元栓とガス栓を開め、電源プラグを抜いて、機器が冷えてから行なってください。次の要領で定期的に行なってください。

お手入れの方法

本体

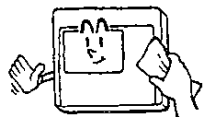
布または、スポンジに台所用洗剤をつけてふきとる。



〔注〕
ベンジン・シンナーなどは使用しない！

リモコン

水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとる。



〔注〕
ベンジン・シンナー・洗剤などは使用しない！

浴そうフィルター

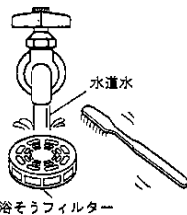
ゴミや濁りなどをそのままにしておくとも詰まりを起こし機器の異常の原因となります。

1 浴そうフィルターをはずす

まわしてははずす。 浴そうフィルター



2 歯ブラシなどで洗う



3 もとのように取り付ける

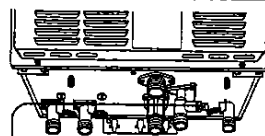
吸込口キャップ 浴そうフィルター



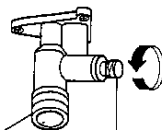
まわしてとりつける。

点検の方法

給水側水ストレーナ

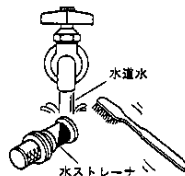


1 給水接続口にある水ストレーナをはずす

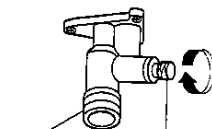


給水接続口 水ストレーナ

2 歯ブラシなどで洗う



3 もとのように取り付ける



給水接続口 水ストレーナ

- 機器の異常音は？
- 外観に異常は見られませんか？
- 周囲に燃えやすいものを置いていませんか？



定期点検のおすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご相談ください。
- ガスふる給湯器が古くなる等熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこりなどがつまったりします。また取付け場所によりバーナーに「くも」が染をはることがあり、ときどきご使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみるなど）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。



すぐ
使いたいとき

故障かな！？

故障と思う前に次の内容に従ってご確認ください、それでも直らないときや原因のわからないときは、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

症状	ご確認ください
運転(燃焼)しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがしっかり差し込まれていますか。 ●ブレーカが「入」になっていますか。 ●ガス栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水していませんか。 ●凍結していませんか。(⇒25ページ) ●停電していませんか。 ●ガス配管に空気が残っていませんか。 ⇒点火操作をくり返す。 ●水ストレーナが詰まっていますか。(⇒19ページ)
お湯があつくならない	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス栓が全開になっていますか。 ●湯と水の量の調節は適切ですか。
低温の湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●給水元栓が全開になっていますか。 ●水ストレーナが詰まっていますか。(⇒19ページ)

● 次のような場合は故障ではありません。

現象	理由
日に排気口から水が出る	排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
お湯停止後もファンが回転がする	再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。
お湯を絞るとお湯が白くなる	水の中の空気が分離して気泡となるためです。
お湯を急に閉めるとゴックンと音がすることがある	水が急に止まるために発生する音で異常ではありません。
お湯はりしたとき安定した湯量にならない	浴そうに水または湯があるためです。(⇒14ページ)

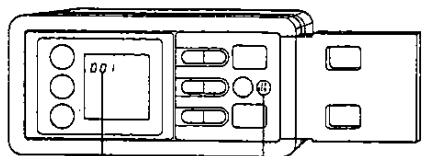
異常時には安全装置が働きます

1. バーナーの炎が消えた場合.....立消え安全装置
2. 機器の温度が異常に上昇した場合.....過熱防止装置
3. 電気回路に漏電が生じた場合.....漏電安全装置
4. 給水されていないのに燃焼している場合.....給湯空だき(残火)安全装置
5. 過電流が流れた場合.....電流ヒューズ
6. 浴そうに水がないのに燃焼している場合.....ふる空だし安全装置
7. 機器内の水圧が異常に上昇した場合.....過圧防止安全装置

上記1～6の安全装置が働いた場合	運転スイッチを「切」にし、ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へ連絡してください。
------------------	---

もし
必要などを

故障かな!?



エラーコード表示 OKモニタースイッチ

下記のエラーコードの表示に府じた処置を行なってください。それでも同じ表示が出る場合、電源プラグを抜かないで、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

表示	原因	処置方法
001	給湯を連続90分以上運転したため。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
002	ふろの沸き上げを連続90分以上運転したため。	追いだしスイッチまたはふろ自動スイッチを「切」にして、栓をしっかり閉めて再操作してください。
111	給湯側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
721	給湯側の回路に異常がおきたため。	
112	ふろ側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、追いだしスイッチ(またはふろ自動スイッチ)を押しながらおしてください。
722	ふろ側の回路に異常がおきたため。	
632	浴そうの循環口より約10cm以上水が入っていないため。	浴そうの循環口より約10cm以上水または湯を入れ、追いだしスイッチを「切」にし、再度「入」にしてください。
	お湯はり時、おふろの浴そうの栓をしていないため。	ふろ自動スイッチを「切」にし、排水栓をしっかり閉め、再度「入」にしてください。
000	停電したため。	時刻を設定しなおしてください。

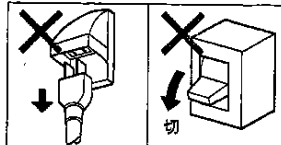
上記以外の表示が出る場合は、運転スイッチをいったん「切」にして再操作してください。

凍結予防について

通常は自動保温します
(外気温0〜-15℃で無風のとき)

給湯側

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく、凍結予防ヒーターが入ります。

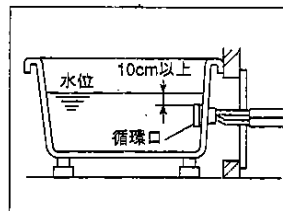


電源プラグは絶対抜かないでください。

ブレーカは絶対「切」にしないでください。

ふろ側

- サーモスタットの働きで、ポンプを動かして凍結を予防します。



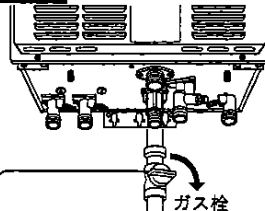
水が循環口より10cm以上あることを確認。

- 凍結予防としてポンプを動作させますので、寒冷時は浴そうに必ず水を張った状態にしてください。

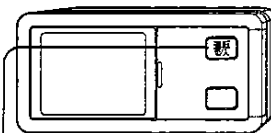
※配管・バルブの凍結予防はできません。

給湯栓から水を出す
(冷え込みが厳しいとき)

給湯側

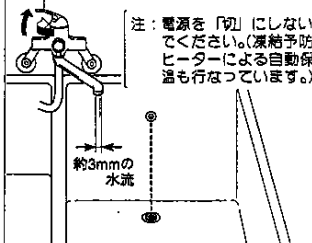


1 ガス栓を閉める



2 運転スイッチを切る

3 給湯栓を開け、水を出しつづける



注：電源を「切」にしないでください。(凍結予防ヒーターによる自動保温も行っていきます。)

ふろ側

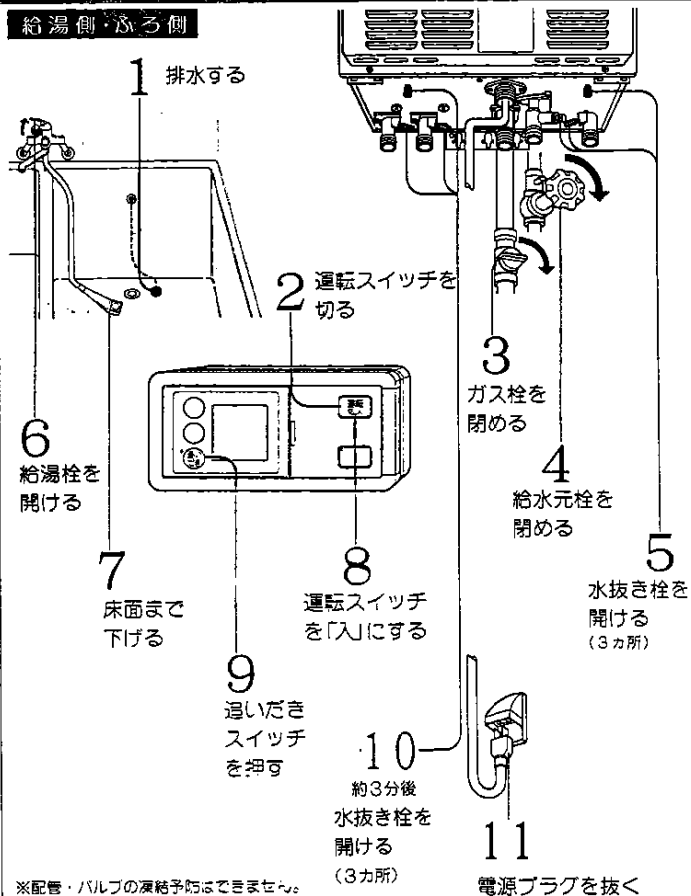
左記ふろ側の説明と同じです。

もし
必要なら

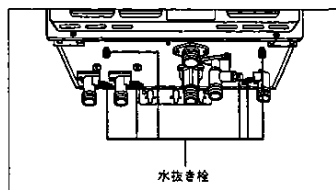
凍結予防について

水抜きをする (長期不在のとき)

給湯側・ふろ側



水抜き後の再使用のとき



1 水抜き栓を閉める

※以下の手順は11ページの「初めてお使いになる
とき」に従ってお使いください。

2 給水元栓を全開にする

3 給湯栓を開け、水を出し、
閉める

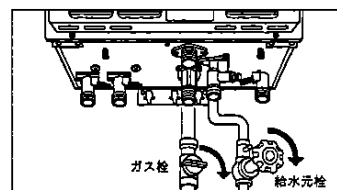
4 ガス栓を全開にする

5 電源プラグを差し込む
またはブレーカを「入」にする

6 運転スイッチを押す

7 ふろ自動スイッチを押し、
湯を出す。再度ふろ自動
スイッチを押し、湯を止める。

凍結して水が出ないとき



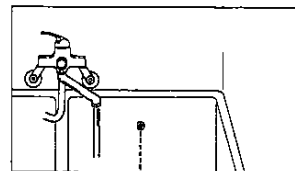
1 ガス栓を閉める

2 給水元栓を閉める

3 運転スイッチを切る

4 給湯栓を開ける

5 ときどき給水元栓を開け
水が出ることを確認する



- 凍結したまま使わないでください。
- 凍結による修理は有料です。

もし
必要なとき

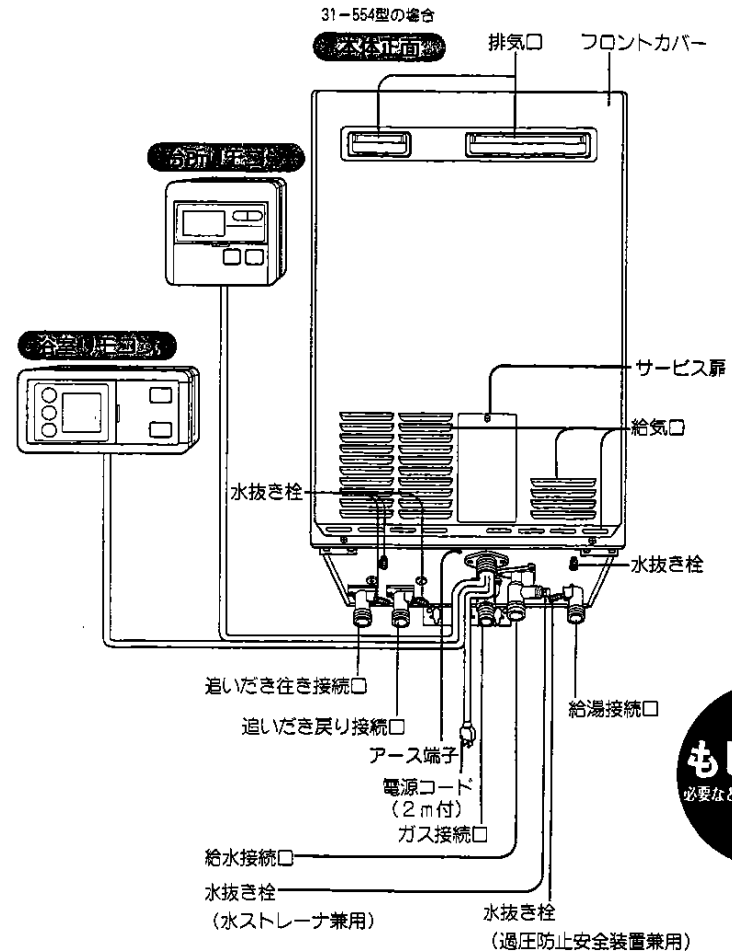
仕様

品 種	31-554型	31-555型	31-556型	31-557型	31-558型	31-559型
設 置 形 態	屋外設置形 PS標準設置形 扉内設置形 前方排気延長形 後方排気延長形 扉内設置形					
設 置 形 名	GJ-S24T6R-B GJ-S24D1-B GJ-S24C1-B GJ-S24B1-B GJ-S24F1-B					
外 形 寸 法 (mm)	高さ 750 × 幅 480 × 奥行 180					
質 量 (kg)	3.5			3.6		
吐水量 (L/min) (能力) (水圧100 kPa) (1kg/100cm)	水温+25℃上昇 2.4.0		水温+40℃上昇 1.5.0			
消費電力	最大稼働時 155/180		165/185	170/195	175/200	
(W) (50Hz/60Hz)	凍結予防ヒーター作動時 約 128 約 8 (電源プラグまたは分電盤のブレーカー) で運転していない状態)					
点 火 方 式	連続放電点火方式					
熱 交 換 器	方 式 2 缶 2 水路 材 質 火ろ釜: 鋼製・湯沸器: 鋼製					
水 圧 (kPa) (kgf/cm ²)	最低作動水圧: 1.5 (0.15) 使用水圧: 1.00 (1.0) 以上					
最低作動水量 (L/分)	2.0					
出 湯 能 力 (湯 沸 器)	2.4号~2.5号					
操 作 方 法	台所リモコン、浴室リモコンによるリモコン操作					
湯 沸 器 能 力 切 換 え	無段階					
接 続	ガ ス 都 市 ガ ス 用 : 2.0 A (R _{1/2}) L P ガ ス 用 : 1.5 A (R _{1/2}) 給 水 2.0 A (R _{1/2}) 給 湯 2.0 A (R _{1/2}) 電 気 AC100V・50/60Hz (電源コード2 m付: 31-554, 559型のみ) ふるい返し用 行き・戻り 1.5 A (R _{1/2})					
安 全 装 置	立消え安全装置・過熱防止装置・漏電安全装置・給湯空だき(熄火)安全装置 電流ヒューズ・火ろ釜空だき安全装置・過圧防止安全装置					
凍 結 予 防 装 置	凍結予防ヒーター(給湯)、ポンプ循環(ふるい)					
付 属 品	台所リモコン(取付なしセット付) 浴室リモコン(取付セット付) Y端子7コ ふるい掃除機(一式) 排気トッパー(31-554~5型はなし) メガネ端子(3コ) M5ねじ(31-554型はなし) やけど注意ラベル(31-556型のみ)					
	31-554型	フレキ管(一式)	M5木ねじ	カールプラグ		
	31-559型	壁取付金具	M5木ねじ	カールプラグ		
別 売 品	2心ケーブル : (438-132型) 増設リモコン : (438-570型) 厚壁用スリーブ : (438-050型) 排気カバー : (438-935型) 配管カバーセット : (438-936型) 循環アダプター : (438-731~734・736型) 据置台セット : (438-735型)					
バ ー ナ ー ピ ン グ	有					

ガ ス 種 類	都市ガス13A用		LPガス用	
型 式 名	GJ-S24T6R-B GJ-S24D1-B GJ-S24C1-B GJ-S24B1-B GJ-S24F1-B		GF-GJ-S24T6R GF-GJ-S24D1 GF-GJ-S24C1 GF-GJ-S24B1 GJ-S24F1-B	
最大ガス消費量	給湯	52.3 (45000)	給湯	52.5 (3750/h)
kW(kcal/h)	追いだし	14.0 (12000)	追いだし	14.0 (1000/h)
	同時使用	60.5 (52000)	同時使用	60.6 (4330/h)
最大ガス流量 (m ³ /h)	給湯	4.31	給湯	3.75 (kg/h)
	追いだし	1.15	追いだし	1.00 (kg/h)
	同時使用	4.98	同時使用	4.33 (kg/h)

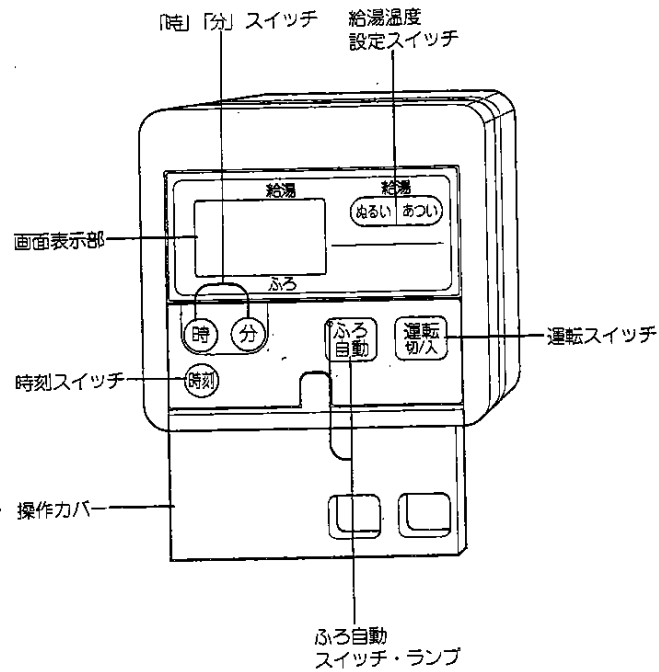
●後述本体より第3種接地工事(アース)が必要とす。

各部のなまえ 本体

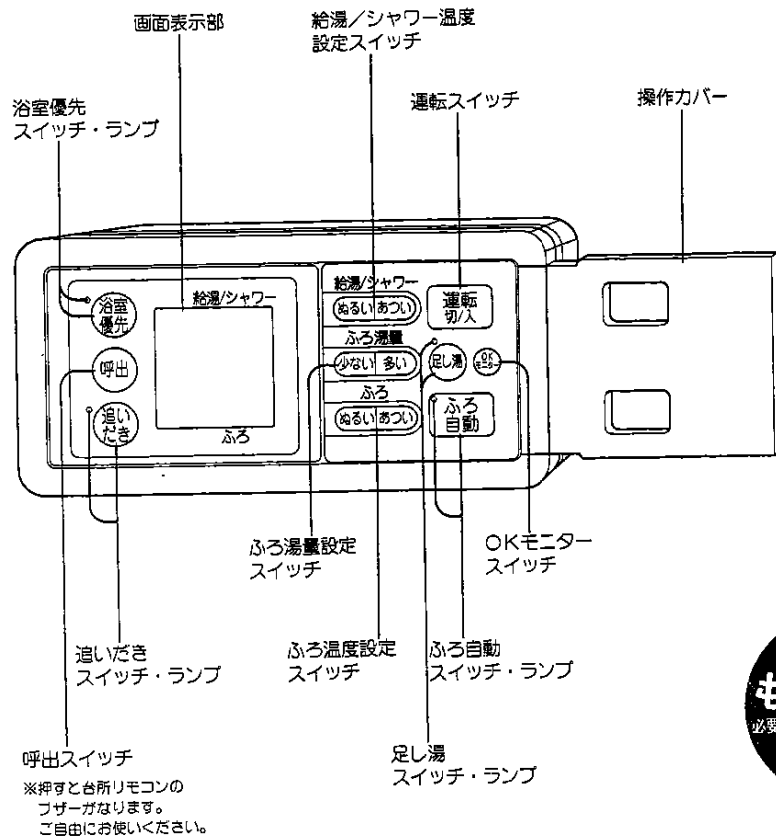


もし
必要とす

各部のなまえ 台所リモコン



浴室リモコン



もし
必要なとき

各部のなまえ

- 下記画面表示は、説明のため全部表示したものです。
- 「給湯温度」「ふろ温度」「ふろ湯量」の数値は目安です。
- 時刻は12時間表示です。

画面表示 (台所リモコン)

優先表示
表示中、給湯の温度設定ができます。

時刻表示
現在時刻を表示。

エラーコード表示
機器に不具合が生じたとき表示。

給湯温度表示
給湯の設定温度を表示。

給湯燃焼表示
給湯燃焼中に表示。

追いだき燃焼表示
ふろを沸かしているときに表示。

保温表示
保温運転をしているとき表示。

画面表示 (浴室リモコン)

時刻表示
現在時刻を表示。

エラーコード表示
機器に不具合が生じたとき表示。

保温表示
保温運転をしているとき表示。

ふろ温度表示
ふろの設定温度を表示。

給湯/シャワー温度表示
給湯/シャワーの設定温度を表示。

給湯燃焼表示
給湯燃焼中に表示。

ふろ湯量設定表示
設定したふろ湯量を表示。

追いだき燃焼表示
ふろを沸かしているときに表示。

アフターサービスについて

アフターサービスのお申し込み

- 20~22ページの「故障がな?」の項を見てもう一度確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い上げの販売店または、大阪ガス社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは次のことをお知らせください。

- (1)品名……ガスふろ給湯器
- (2)品番……機器本体の正面左下部に貼付してあります。
- (3)現象……(できるだけ詳しく)
- (4)お客様名・住所・電話番号・道順

例. 31-554型の場合

(N) 31-554 (U)

大阪ガス株式会社

転居される場合

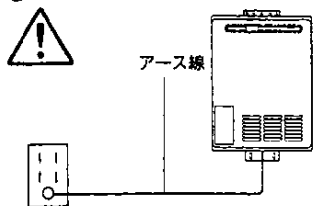
- ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガス社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類・電気の周波数によっては調整できない場合もあります。
- 転居・移設の際は、近隣の家に迷惑にならない場所に設置してください。騒音が気になったり、温風で植木が枯れたりします。

保証・修理について

- 保証期間中は…
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。保証書を紛失されると、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理について
お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガス社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後10年です。その後の修理は、補修用性能部品がなくて修理ができない場合がありますのでご了承ください。

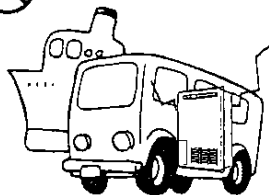
もし
必要なとき

■アース接続されていることを確認する



漏電が生じた場合、感電の原因となります。
アース接続されていない場合は、販売店に
依頼してください。

■車両・船舶への設置はしない

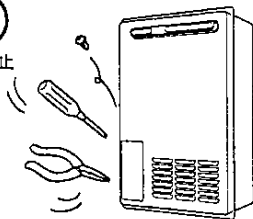


振動により機器が転倒し、火災や機器故障
の原因となります。

■お客様ご自身で修理・分解をしない
(フロントカバーを外さない。)



分解禁止

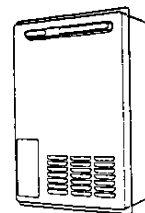


不備が生じた場合、火災や感電・機器故障の
原因となります。

取扱説明書（別冊） 「安全上のご注意」

ガスふろ給湯器（屋外式）

ご使用前に「取扱説明書」及びこ
の取扱説明書（別冊）をよくお読み
の上、正しくお使いください。
そのあと大切に保管し、必要なとき
お読みください。



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りい
ただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で
区分し、説明しています。

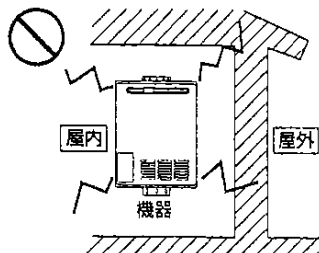
	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

■屋内に設置しない

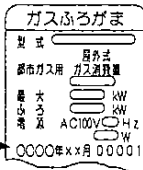


燃焼排ガスが室内に流入したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

■必ず銘板に表示のガス・電源を使用する

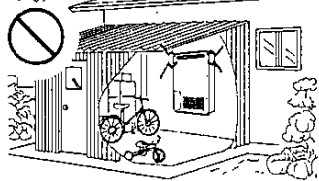


製造年月(例:〇年×月製)を示します。



他のガス種・電源を使用すると機器が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

■増改築などにより屋内状態にしない
(波板などにより囲いをするもおやめください。)



正常な給排気ができないため異常燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

※機器の形状は異なる場合があります。

■ガス漏れに気付いた時は、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店へ連絡する



ガス栓を閉める



お買い上げの販売店または
ガス供給業者に連絡する

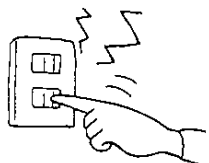


そのままにしておくと、引火し、爆発・火災の原因となります。

■ガス漏れ時は、絶対に火をつけたり電気器具のスイッチの「入・切」などはしない

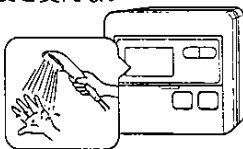


火気禁止



引火し、爆発・火災の原因となります。

■給湯・シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない



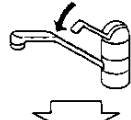
高温に設定されると熱湯によるやけどの原因となります。

⚠ 警告

■異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う

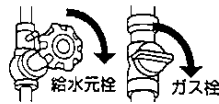


給湯栓を閉める



運転スイッチを「切」にする

給水元栓・ガス栓を閉める

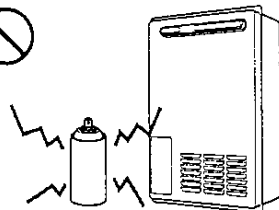


お買い上げの販売店または
ガス供給業者に連絡する



そのままにしておくと、火災の原因となります。

■スプレー缶を機器の前方に置かない、前方で使用しない



熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発・火災の原因となります。

■お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、運転スイッチを「切」にし、ガス栓を閉める



運転スイッチを「切」にする



ガス栓を閉める

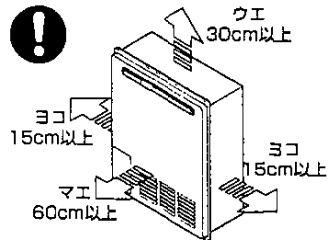


旅行など、長期間使用しない場合は凍結予防のため水抜きを行なう

水抜き方法は別添の取扱説明書を参照する。

ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

■燃えやすいものとは離す



上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

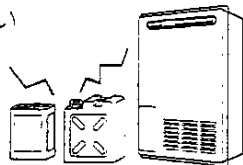
※混合水栓はレバーを上げた状態が給湯栓「閉」の場合で説明してあります。

■機器の設置、移動の工事はお買い上げの販売店に依頼する



正常に機器が設置されると火災や機器故障の原因となります。

■ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない

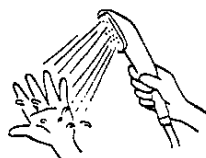


火災の原因となります。

■入浴時、シャワー使用時はまず手で湯温を確認する

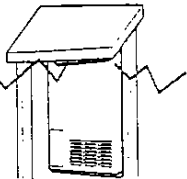


やけど注意



やけどの原因となります。

■給排気口をおおわない



火災や異常燃焼による機器故障の原因となります。

⚠ 注意

■給湯・お湯はり用として使用する

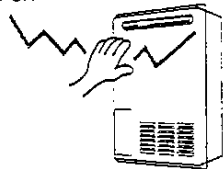


他の用途に使用すると、火災や機器故障の原因となります。

■使用中や消火直後は、排気口付近に触れない

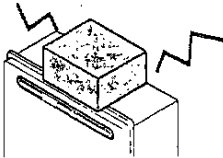


接触禁止



やけどの原因となります。

■機器の上に乗ったり、物を乗せたりしない



やけどや機器の転倒により、けが・機器故障の原因となります。

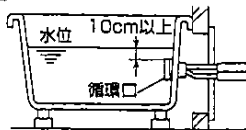
■点火時、消火時、使用中はリモコンの燃焼表示（ランプ）の点灯・消灯を確認する



確認を怠ると、機器の異常を早期に発見できなくなります。

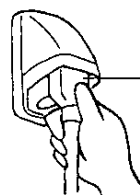
⚠ 注意

■追いだきするときは水位が循環口より10 cm以上、上にあることを確認する



空だきによる火災や、機器故障の原因となります。

■電源プラグの抜き差しは、プラグをもって確実に行なう（電源プラグがある場合。）



電源プラグ

コードを持って引き抜いたりするとコードが切れ、感電や火災の原因となります。

■電源プラグまたはブレーカは、ぬれた手で触らない



感電の原因となります。

■排水の不良などで機器が冠水するような状態では使用しない



火災や異常燃焼による機器故障の原因となります。販売店にご相談ください。

■点検・お手入れは運転スイッチを「切」にし、給水元栓とガス栓を閉め電源プラグを抜いて（またはブレーカを「切」にして）機器が冷えてから行なう



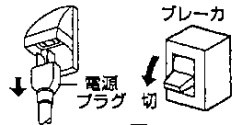
運転スイッチを「切」にする



給水元栓・ガス栓を閉める



電源プラグを抜くまたはブレーカを「切」にする

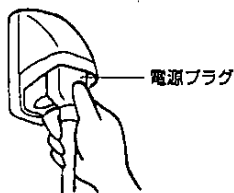


機器が冷えてから行なう
（操作手順は別添の取扱説明書を参照する）

やけどや感電の原因となります。

注意

■電源プラグの抜き差しは、プラグをもって確実に行なう（電源プラグがある場合）



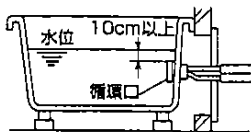
コードを持って引き抜いたりするとコードが切れ、感電や火災の原因となります。

■電源プラグまたはブレーカはぬれた手で触らない



感電の原因となります。

■追いだきするときは水位が循環口より10 cm以上、上にあることを確認する

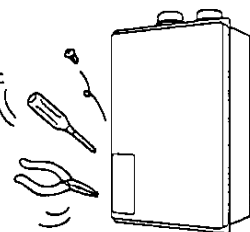


空だきによる火災や、機器故障の原因となります。

■お客様ご自身で修理・分解をしない（フロントカバーを外さない。）



分解禁止



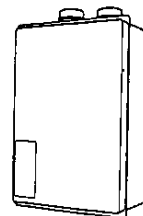
不備が生じた場合、火災や感電・機器故障の原因となります。

取扱説明書（別冊）

「安全上のご注意」

ガスふろ給湯器（屋内式）

ご使用前に「取扱説明書」及びこの取扱説明書（別冊）をよくお読みの上、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

注意喚起	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
禁止	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
強制	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

■ガス漏れに気付いた時は、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店へ連絡する

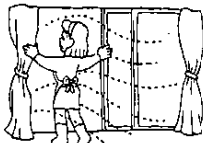


ガス栓を閉める



ガス栓

窓や戸を全開にする

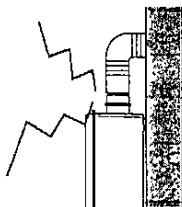


お買い上げの販売店またはガス供給業者に連絡する



そのままにしておく、引火し、爆発・火災の原因となります。

■給排気筒が外れたり、つまった状態で使用しない

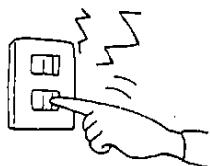


燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排気ができないため異常燃焼、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

■ガス漏れ時は、絶対に火をつけたり電気器具のスイッチの「入・切」などはしない



火気禁止



引火し、爆発・火災の原因となります。

■入浴時、シャワー使用時はまず手で湯温を確認する



やけど注意



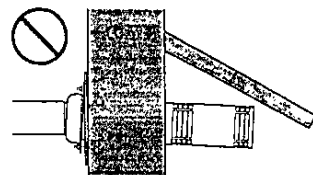
やけどの原因となります。

■機器の設置、移動の工事はお買い上げの販売店に依頼する



正常に機器が設置されないため火災や機器故障の原因となります。

■給排気トップをおおわない



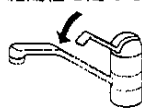
火災や異常燃焼による機器故障の原因となります。

⚠ 警告

■異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う



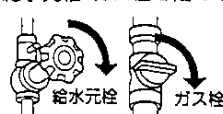
給湯栓を閉める



運転スイッチを「切」にする



給水元栓・ガス栓を閉める



お買い上げの販売店またはガス供給業者に連絡する

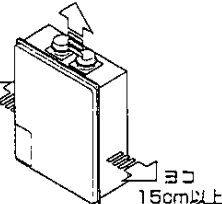


そのままにしておく、火災の原因となります。

■燃えやすいものは離す



ヨコ
15cm以上



ヨコ
15cm以上

上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

■お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、運転スイッチを「切」にし、ガス栓を閉める



運転スイッチを「切」にする



ガス栓を閉める

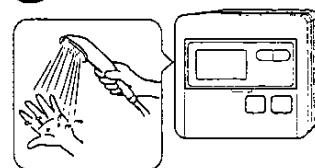


旅行など、長時間使用しない場合は凍結予防のため水抜きを行なう

水抜き方法は別添の取扱説明書を参照する。

ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

■給湯・シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない



高温に設定されると熱湯によるやけどの原因となります。

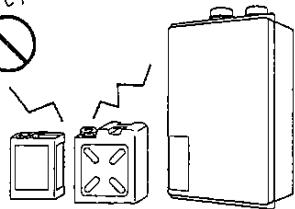
■必ず銘板に表示のガス・電源を使用する



製造年月(例、〇年×月製)を示します。

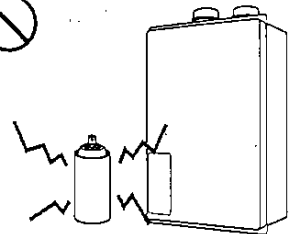
他のガス種・電源を使用すると機器が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

■ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない



火災の原因となります。

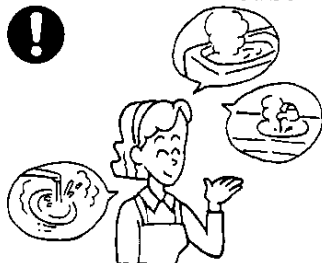
■スプレー缶を排気トップの前方に置かない、前方で使用しない



熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因となります。

⚠ 注意

■給湯・お湯はり用として使用する

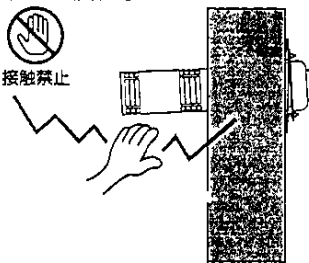


他の用途に使用すると、火災や機器故障の原因となります。

■使用中や消火直後は、排気トップ付近に触れない

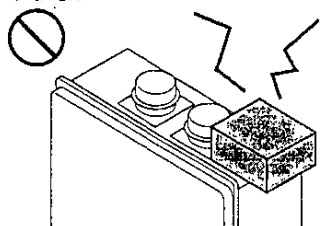


接触禁止



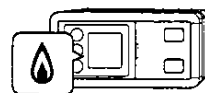
やけどの原因となります。

■機器の上に乗ったり、物を乗せたりしない



やけどや機器の転倒により、けが・機器故障の原因となります。

■点火時、消火時、使用中はリモコンの燃焼表示(ランプ)の点灯・消灯を確認する



確認を怠ると、機器の異常を早期に見てできなくなります。

■点検・お手入れは運転スイッチを「切」にし、給水元栓とガス栓を閉め電源プラグを抜いて(またはブレーカを「切」にして)機器が冷えてから行う



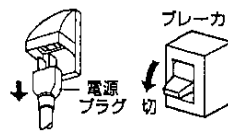
運転スイッチを「切」にする



給水元栓・ガス栓を閉める



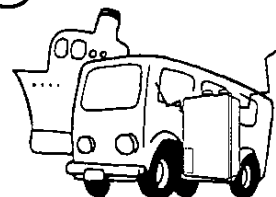
電源プラグを抜くまたはブレーカを「切」にする



機器が冷えてから行う
[操作手順は別添の取扱説明書を参照する]

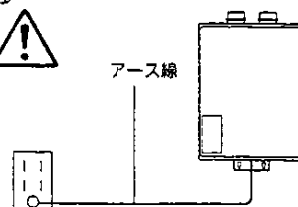
やけどや感電の原因となります。

■車両・船舶への設置はしない



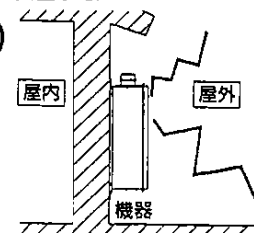
振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因となります。

■アース接続されていることを確認する



漏電が生じた場合、感電の原因となります。アース接続されていない場合は、販売店に依頼してください。

■屋外に設置しない



炎が風にあおられて火災の原因となったり、雨水などが入り、機器故障の原因となります。